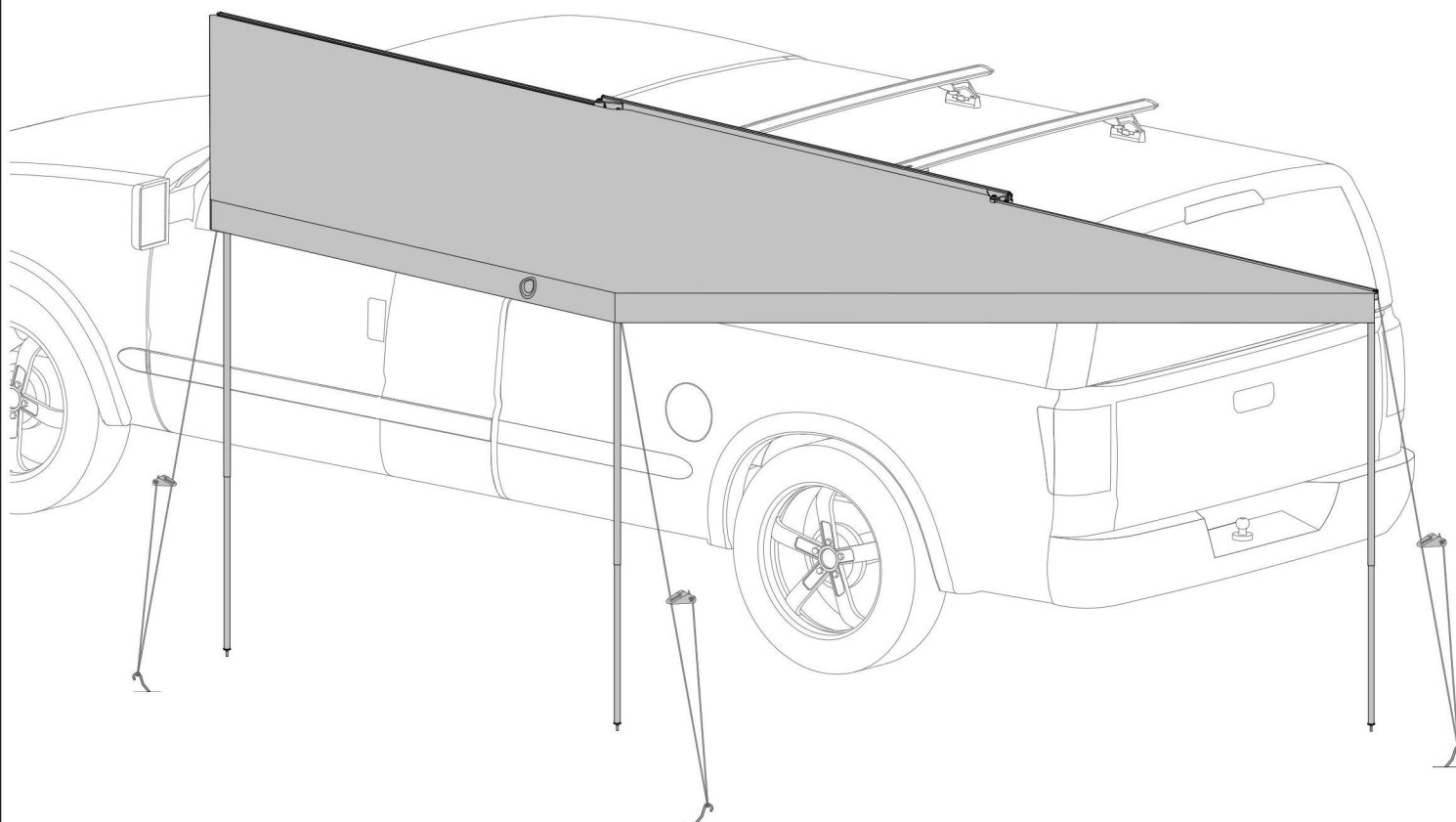
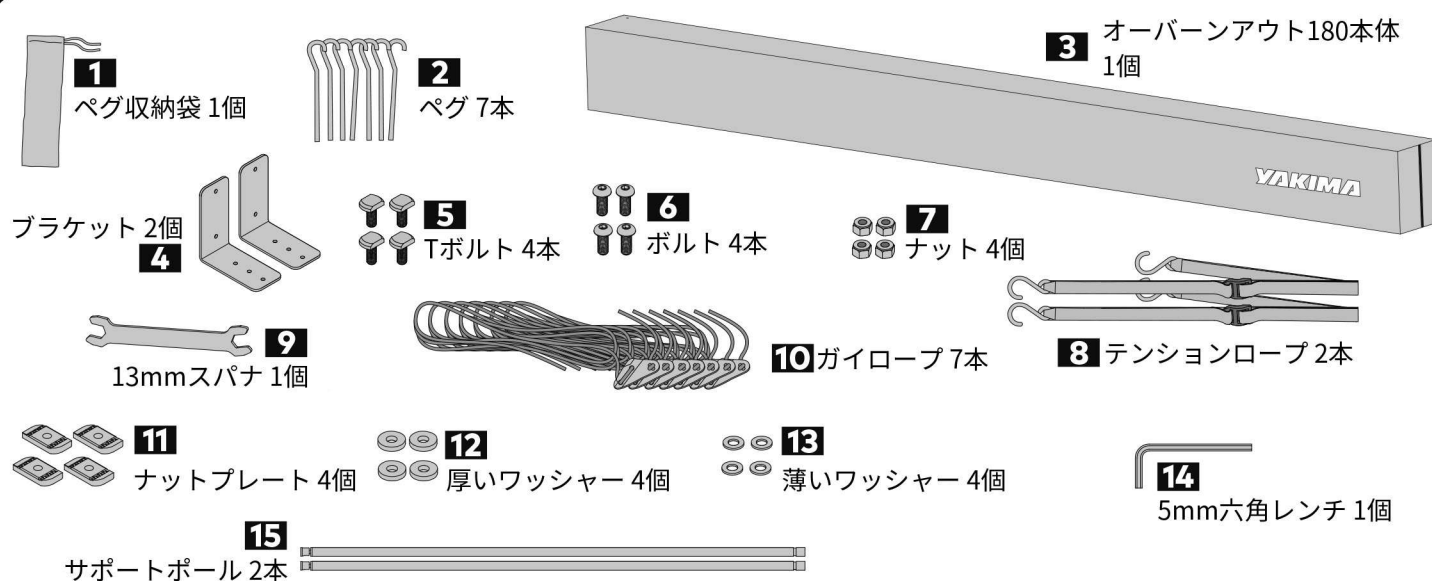




注意：本説明書では、左側への取り付けを例として掲載しています。

### セット内容

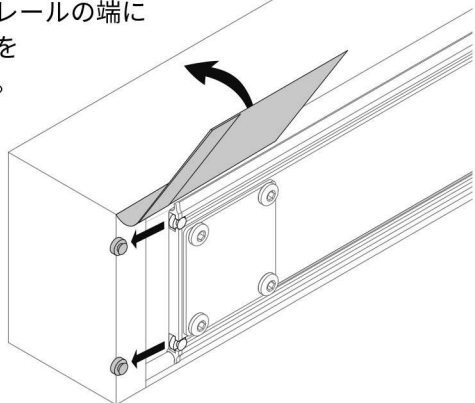




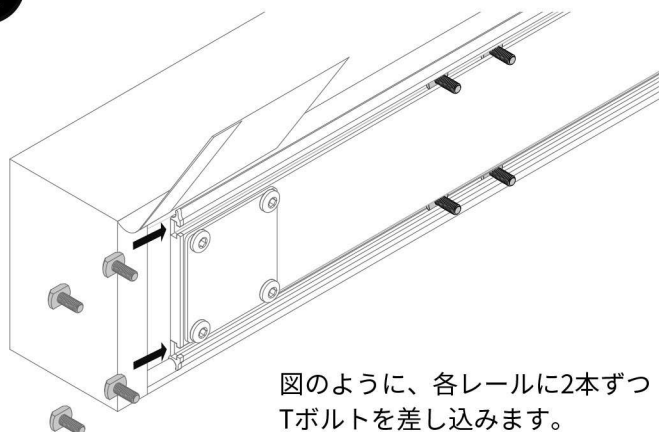
注意：組み立てを始める前に、オーニングのファスナーを開き、ペグを取り出してください。

## 1 プラグを取り外します。

カバーを持ち上げ、レールの端にあるゴム製のプラグを取り外してください。



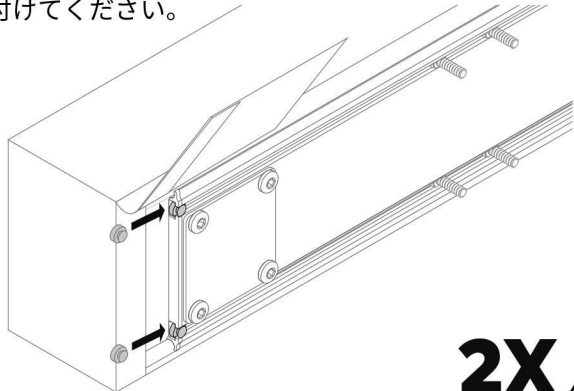
## 2 Tボルトを取り付けます



図のように、各レールに2本ずつTボルトを差し込みます。

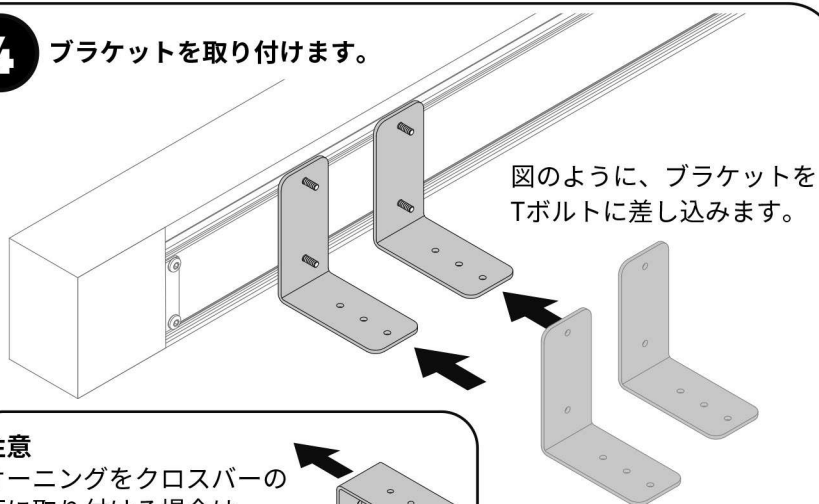
## 3 プラグを再度取り付けます。

手順①で外したプラグを再度取り付け、カバーを閉じます。  
オーニングへの水の侵入を防ぐために必ず取り付けてください。



**2X**

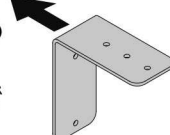
## 4 ブラケットを取り付けます。



図のように、ブラケットをTボルトに差し込みます。

### 注意

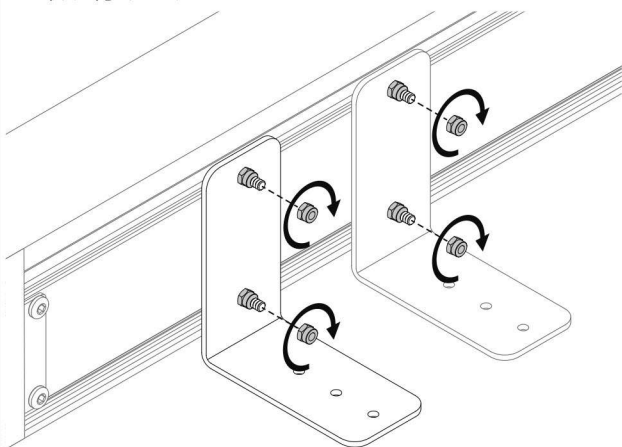
オーニングをクロスバーの下に取り付ける場合は、ブラケットを反対の角度で取り付けてください。



**2X**

## 5 ナットを緩く取り付けます。

13mmレンチを使用し、Tボルトにナットを緩く取り付けます。



**4X**



ジェットストリームバーへの取り付け  
3ページをお読みください。



HDバーへの取り付け

5ページをお読みください。



TrimHDバーへの取り付け

5ページをお読みください。



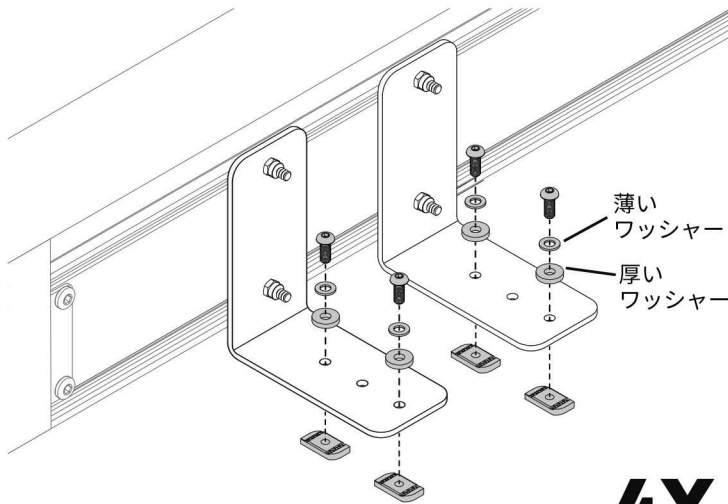
ロックンロードへの取り付け

6ページをお読みください。

## ジェットストリームバーへの取り付け

### 1 ナットプレートを緩く取り付けます。

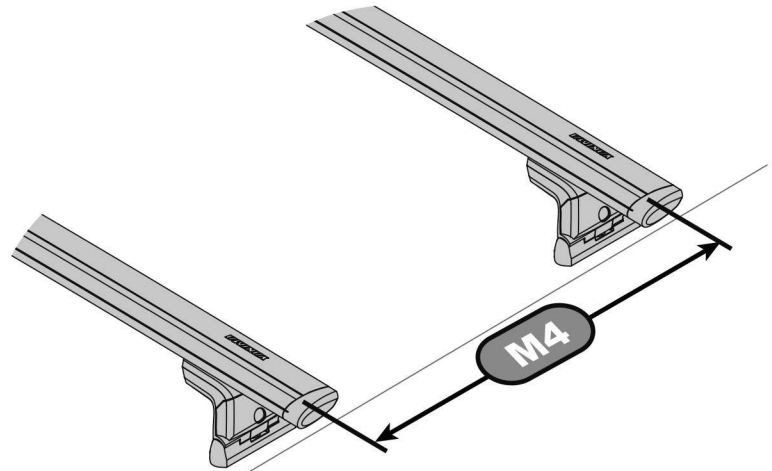
5mm六角レンチを使用し、各ブラケットにボルト2本・薄いワッシャー2個・厚いワッシャー2個で、ナットプレートを取り付けます。



**4X**

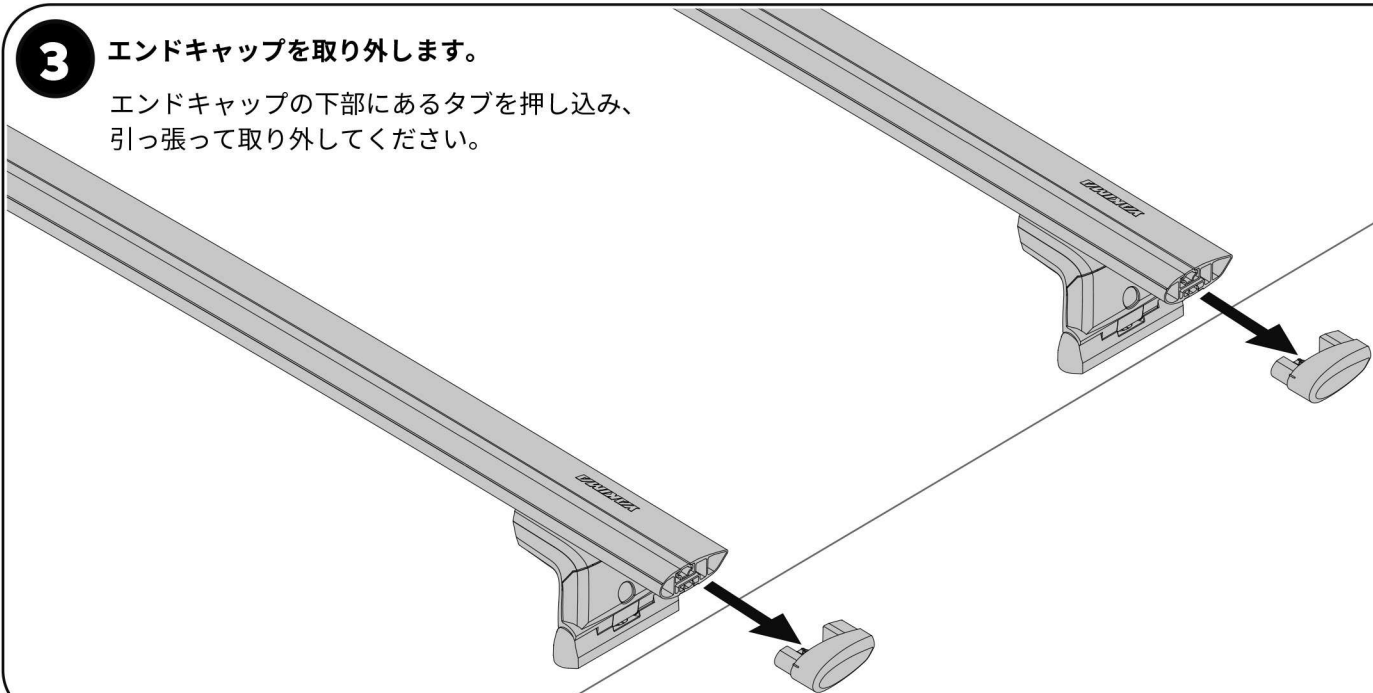
### 2 クロスバー間隔を測定します。

ジェットストリームバーのTスロット間の距離を測定します。これがM4の測定値になります。右枠にM4の数値を記入してください。



### 3 エンドキャップを取り外します。

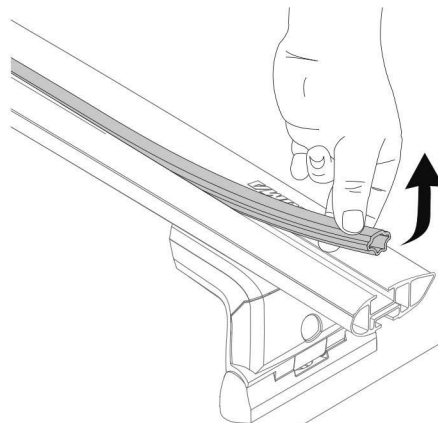
エンドキャップの下部にあるタブを押し込み、引っ張って取り外してください。



**4X**

### 4 ジェットストリームバーのTスロットを露出させます。

ゴムモールを外し、Tスロットを約7cm露出させます。必要に応じて、ゴムモールをカットしても構いません。



**4X**

## 5 ブラケットを取り付けます。

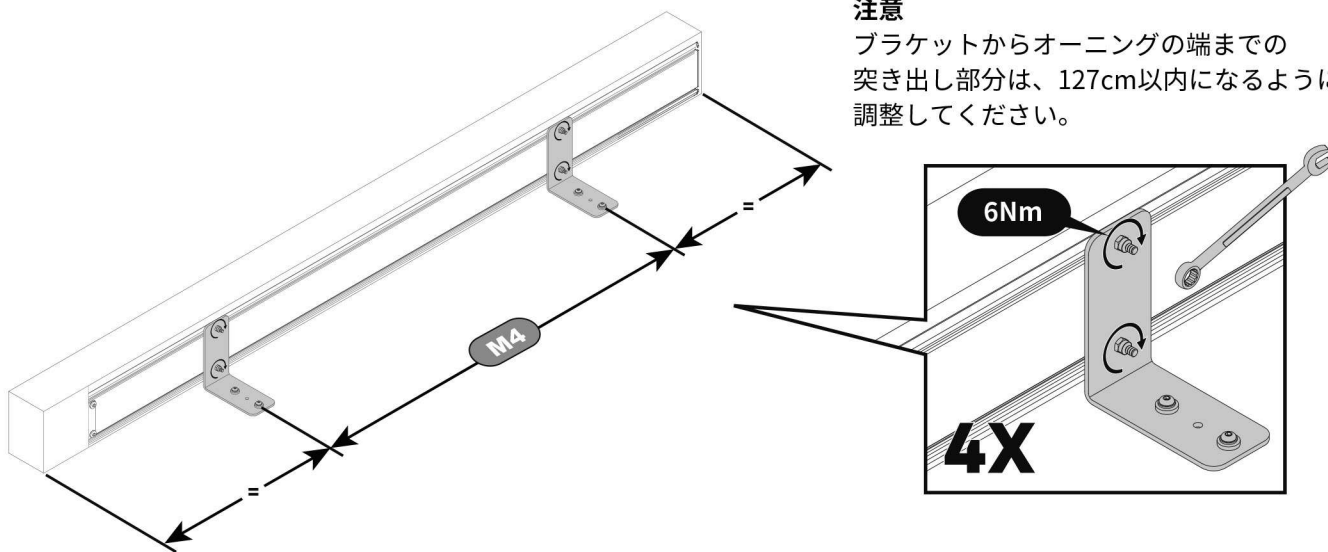
ブラケットの中心間の距離をM4の測定値に合わせて設定します。

### 注意

左図のように、ブラケットから外側の距離が均等になるように取り付けることを推奨します。  
6Nmのトルクで締め付けてください。

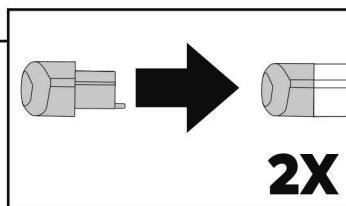
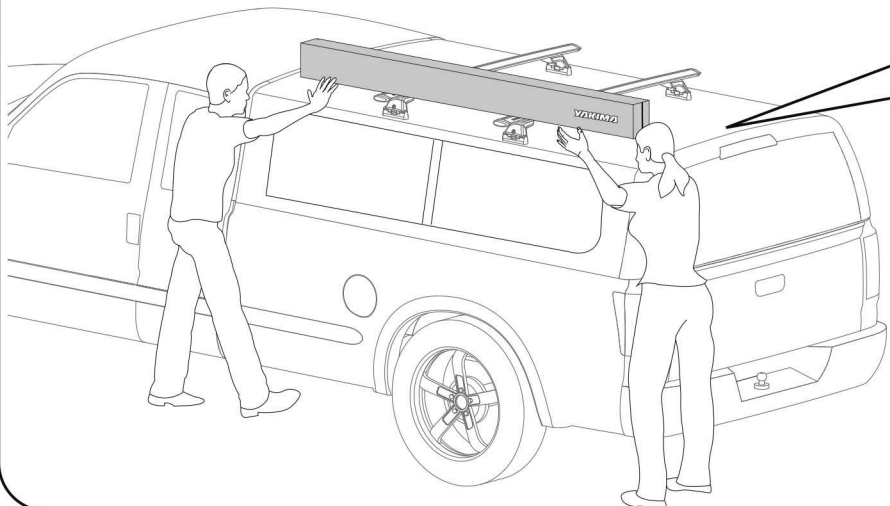
### 注意

ブラケットからオーニングの端までの突き出し部分は、127cm以内になるように調整してください。



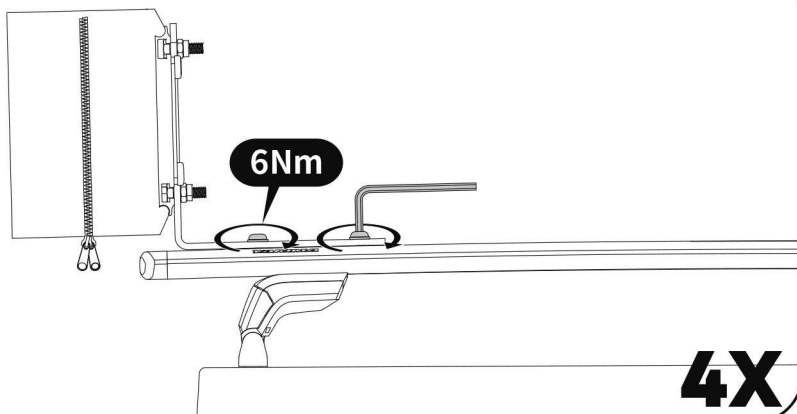
## 6 ナットプレートをジェットストリームバーのTスロットに差し込みます。

2人以上で行ってください。オーニングを持ち上げ、ナットプレートをジェットストリームバーのTスロットに慎重に差し込みます。  
その後、エンドキャップを再度取り付けます。



## 7 ナットプレートを締め付けます。

六角レンチを使用し、ボルトを6Nmのトルクで完全に締め付けてください。



7ページの手順⑧にお進みください。

## HDバーへの取り付け

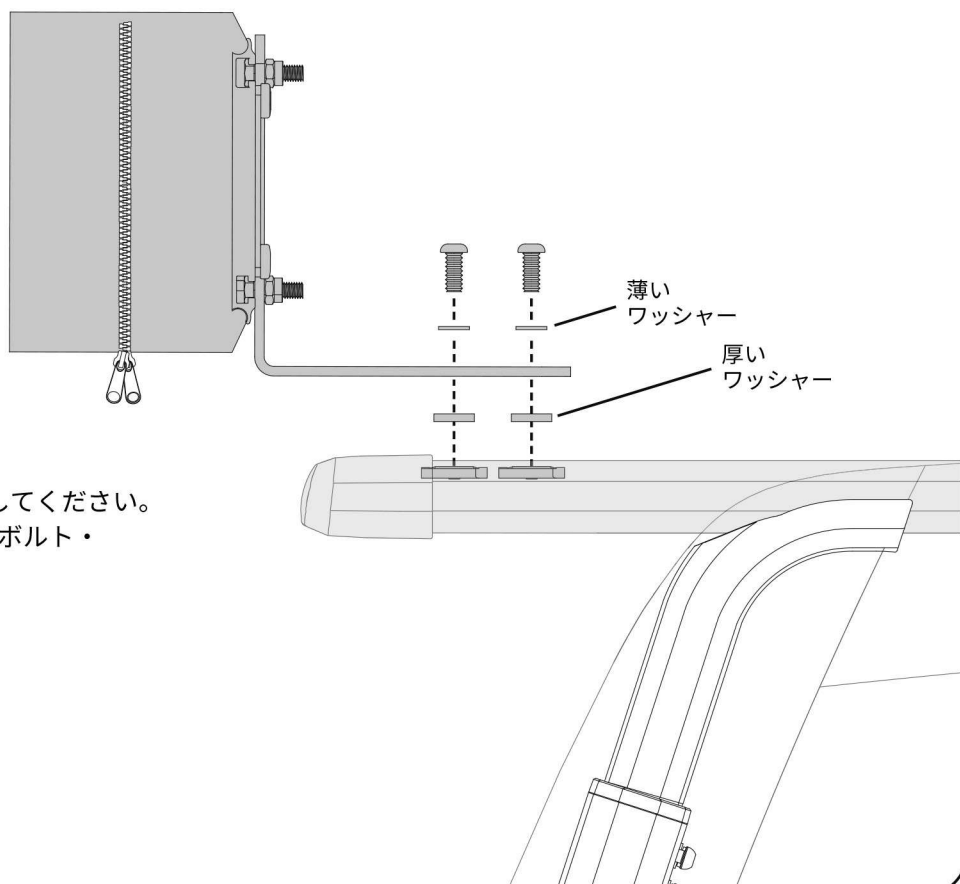
### 注意

ブラケットがHDバーのエンドキャップに接触しないよう、厚いワッシャーをHDバーの上に乗せてください。

### 注意

ブラケットからオーニングの端までの突き出し部分は、127cm以内になるように調整してください。

- 3ページの手順②を参照に、M4の距離を測定してください。
- HDバーへの取り付けの際は、図に示す順番でボルト・ワッシャー・ナットプレートを取り付けます。
- 3ページの手順③④はスキップしてください。
- 4ページの手順⑤⑥⑦に従ってください。
- 7ページの手順⑧に進んでください。

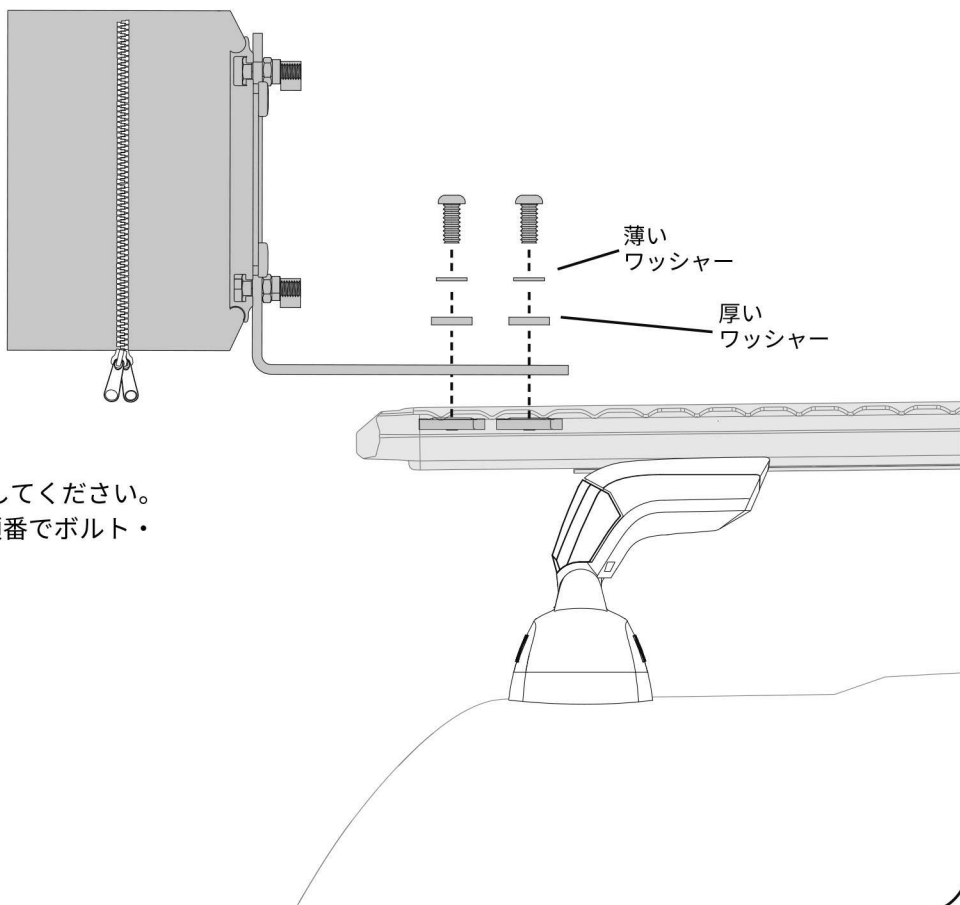


## TrimHDバーへの取り付け

### 注意

ブラケットからオーニングの端までの突き出し部分は、127cm以内になるように調整してください。

- 3ページの手順②を参照に、M4の距離を測定してください。
- TrimHDバーへの取り付けの際は、図に示す順番でボルト・ワッシャー・ナットプレートを取り付けます。
- 3ページの手順③④はスキップしてください。
- 4ページの手順⑤⑥⑦に従ってください。
- 7ページの手順⑧に進んでください。



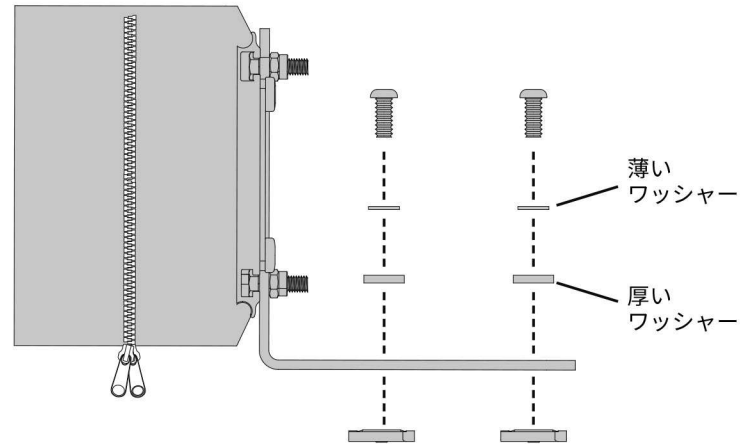
## ロックンロードへの取り付け

- ロックンロードへの取り付けの際は、右図に示す順番で、ボルト・ワッシャー・ナットプレートを緩く組み立てます。
  - 2人以上で、オーニングを持ち上げてください。
  - ブラケットをスライドさせ、Tスロットの位置に合わせます。
  - 下の図のように、まず1個目のナットプレートを、Tスロットの開口部から差し込みます。
- 次に、2個目のナットプレートを開口部から差し込めるように、オーニングをスライドさせます。

### 注意

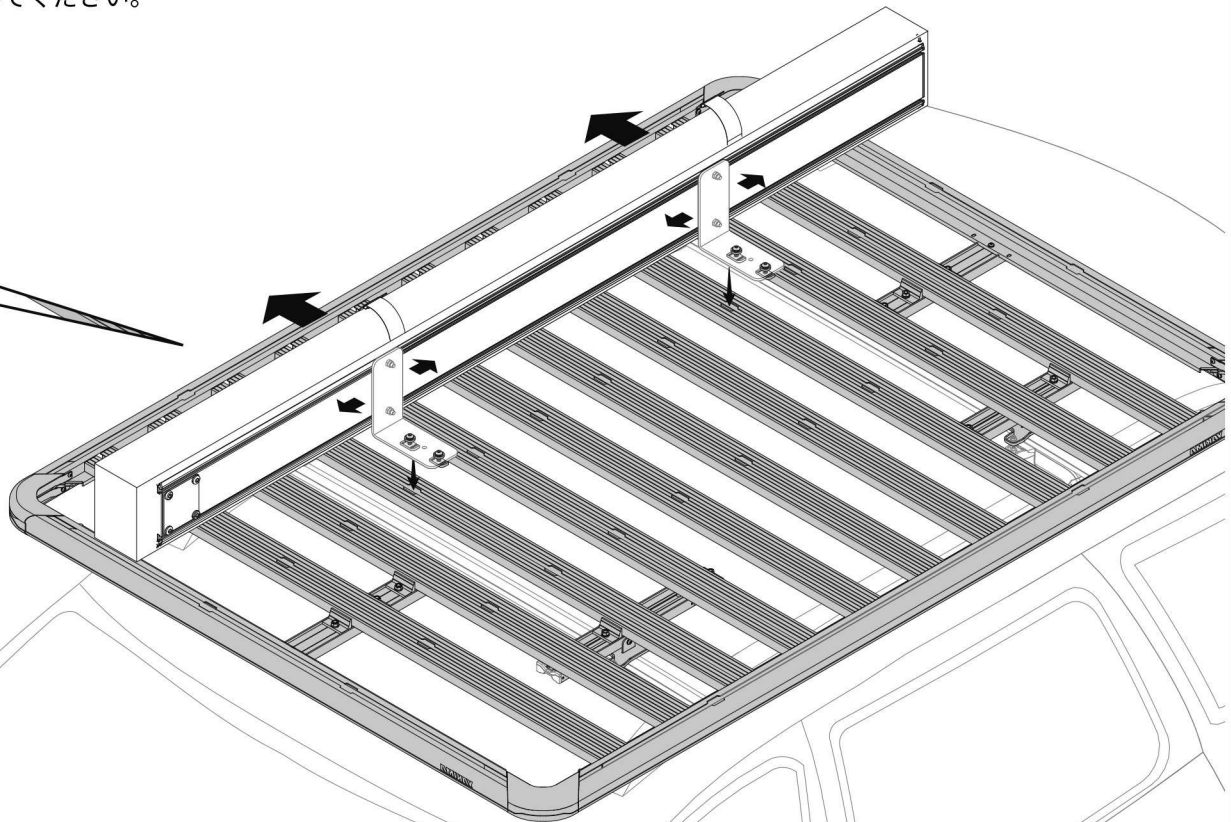
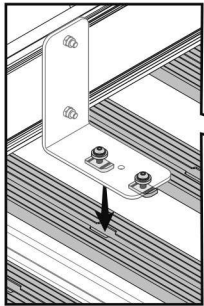
ナットプレートはTスロットの開口部に入るように、縦方向に配置する必要があります。

- ナットプレートがTスロットに差し込まれた状態で、オーニングをロックンロードの端まで完全にスライドさせます。
- レンチを使用し、すべての取り付け金具を9Nmのトルクで締め付けてください。
- ページの手順⑧へ進んでください。



### 注意

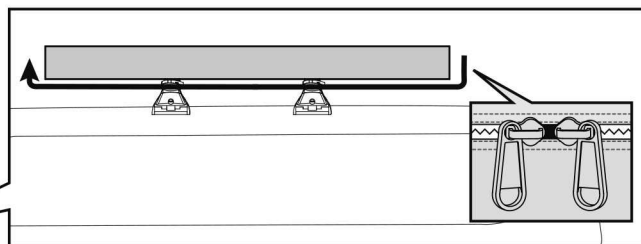
ブラケットからオーニングの端までの突き出し部分は、127cm以内になるように調整してください。



8

カバーのファスナーを開け、  
後ろに折りたたみます。

ファスナーが引っかからないように、ゆっくりと  
開け、図のようにカバーを折りたたんでください。



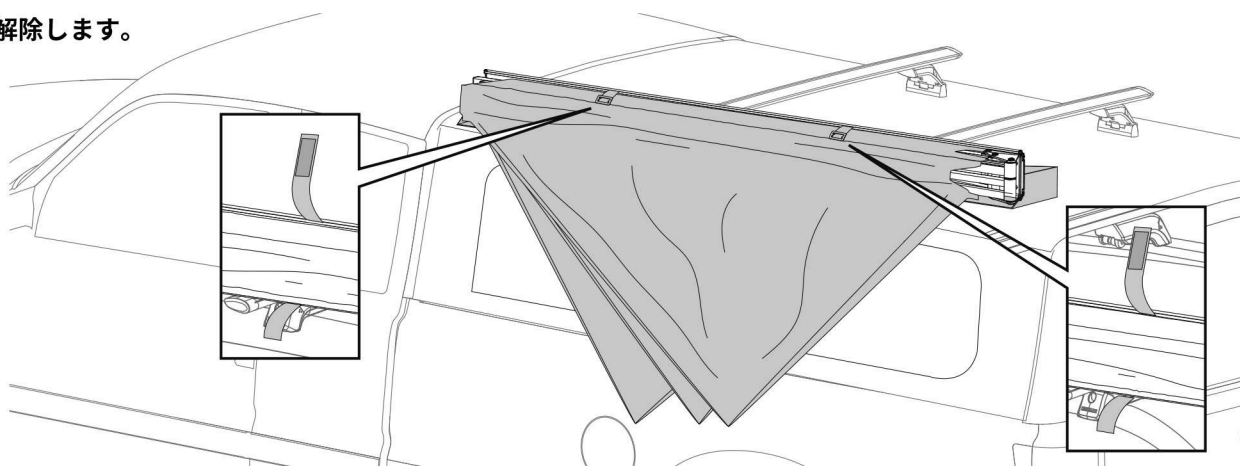
#### 注意

オーニングを収納する  
際は、ファスナーを  
リア側に移動させ、  
走行中の音を軽減させて  
ください。

9

ストラップを解除します。

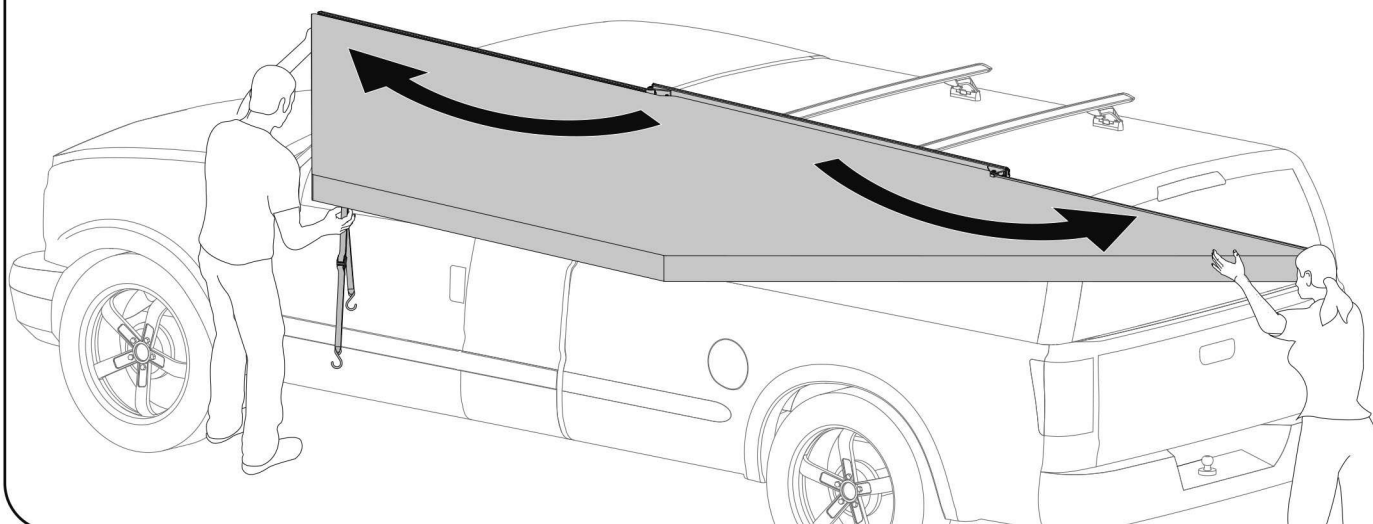
面ファスナーの  
ストラップを外し、  
オーニングの生地を  
開きます。



10

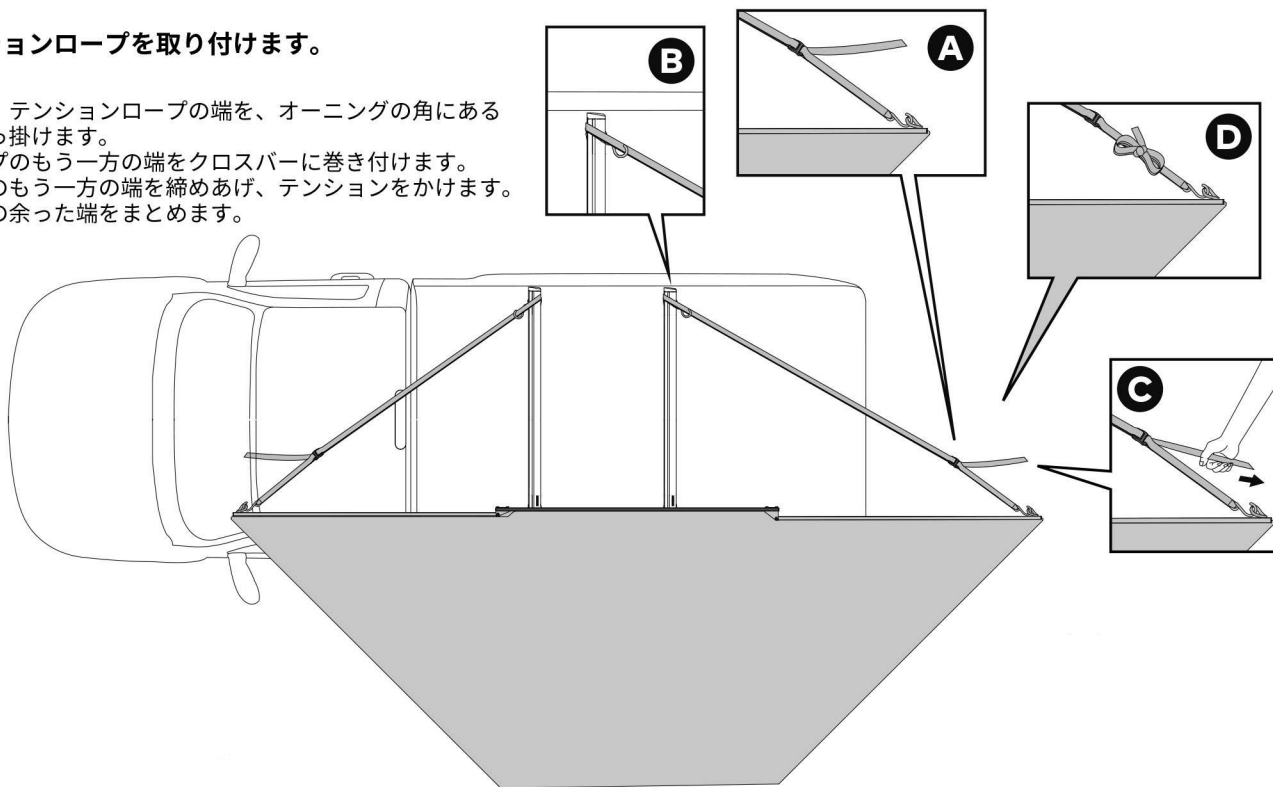
オーニングを展開します。

図のように、オーニングを引き出して展開してください。



## 11 テンションロープを取り付けます。

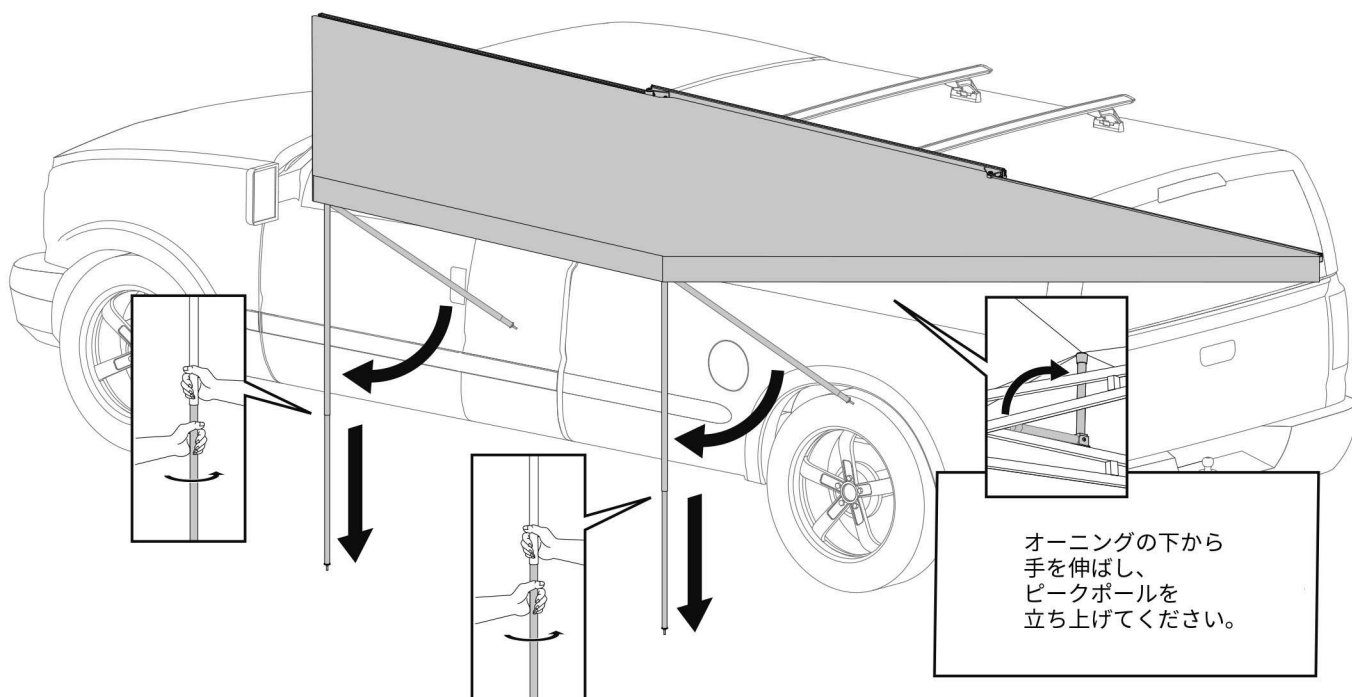
- ①図のように、テンションロープの端を、オーニングの角にあるループに引っ掛けます。  
 ②張ったロープのもう一方の端をクロスバーに巻き付けます。  
 ③ストラップのもう一方の端を締めあげ、テンションをかけます。  
 ④ストラップの余った端をまとめます。



## 12 サポートポールを伸ばします。



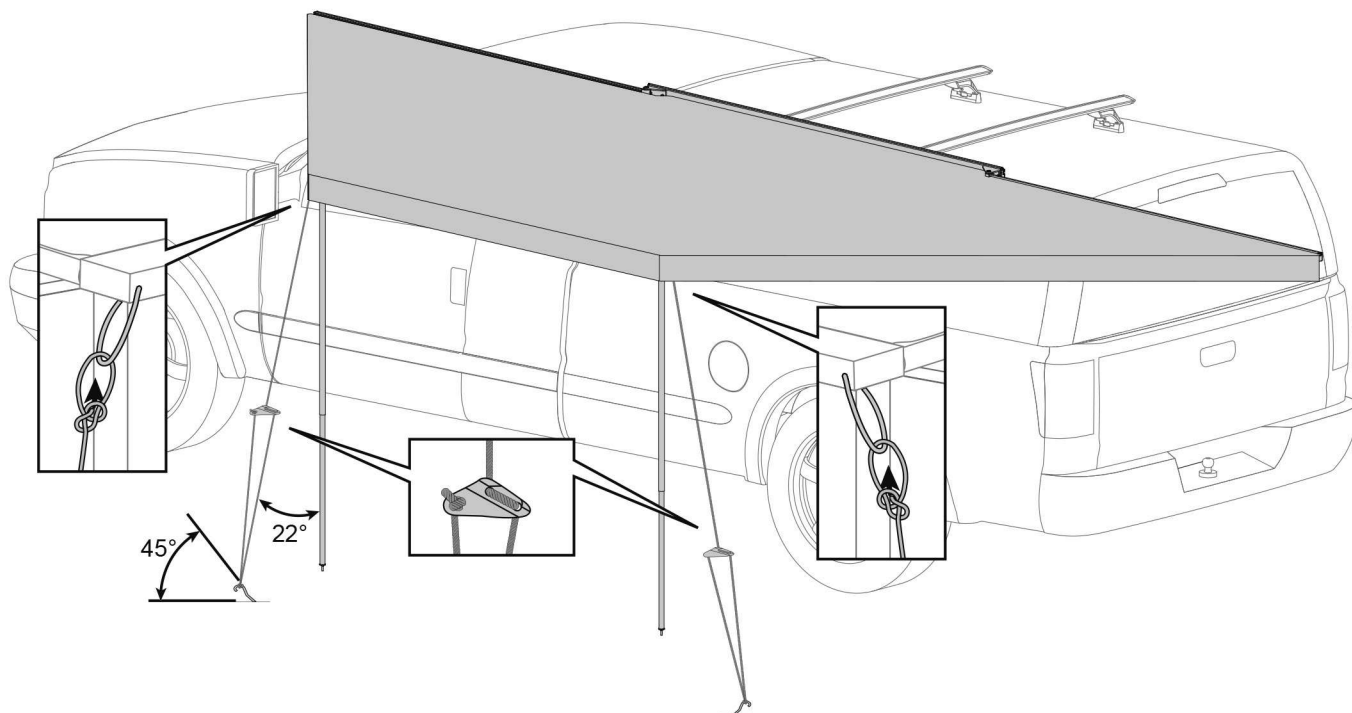
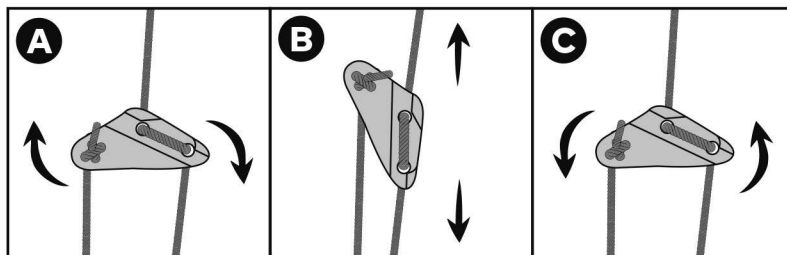
風や突風が予想される場合は、サポートポールとガイロープを設置してください。風が非常に強いときは、オーニングを展開しないでください。風は予想せず吹きますので、オーニングのそばから離れるときは、サポートポール、ガイロープ、ペグを正しく設置してください。



- ・サポートポールを1/4回転させてロックを解除し、長さを調整した後、サポートポールを回転させて固定します。
- ・晴れた日はオーニングを水平に、雨の日は少し下向きに傾けて設置してください。

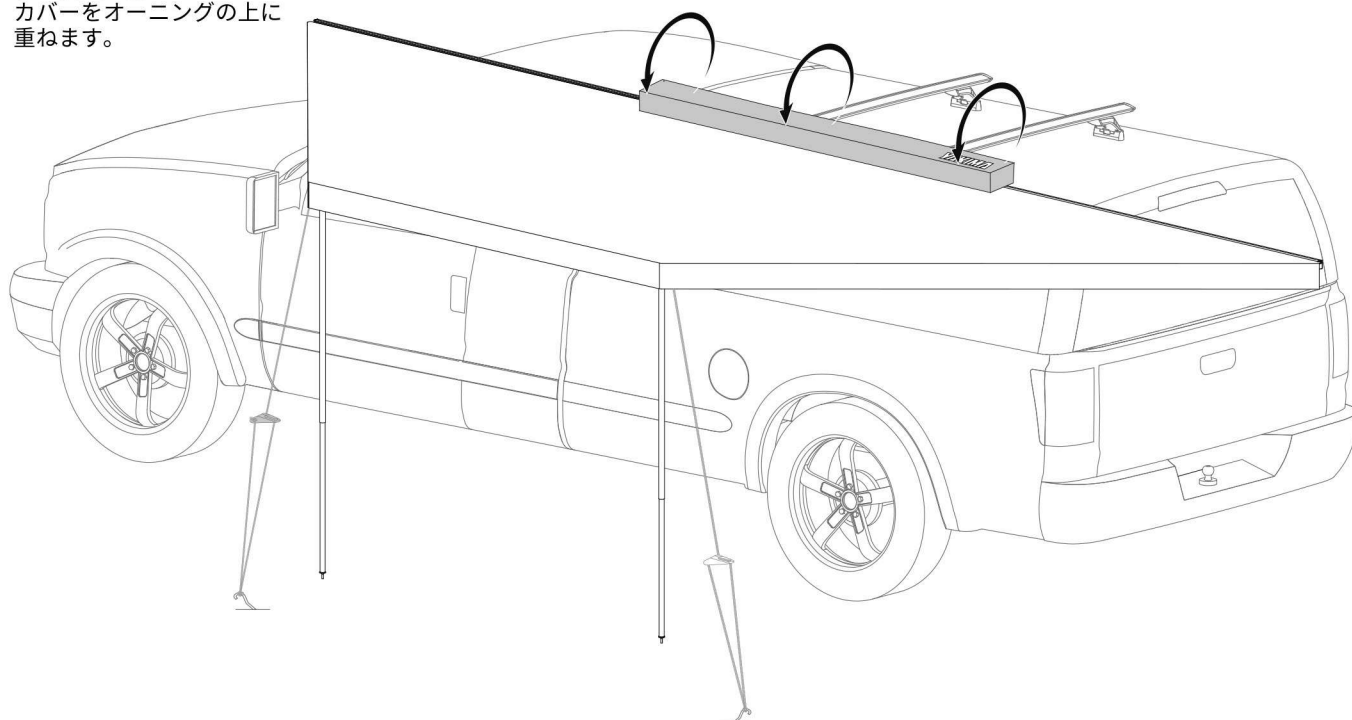
### 13 ガイロープを取り付ける場合の手順です。

各サポートポールから30cm離れた位置に、ペグを45度の角度で地面に打ち込みます。  
ガイロープのループ側をペグに引っ掛け、図のようにテンショナーを上スライドさせてガイロープにテンションをかけてください。  
各サポートポールで同様に行ってください。



### 14 カバーを折りたたみます。

水の侵入を防ぐために  
カバーをオーニングの上に  
重ねます。



## 以下の警告をよくお読みください！

- 本製品は、Tスロットへの取り付け専用で設計されています。
- 怪我や物的損害を防ぐため、風向きが予測できないような強風下での使用は避けてください。風や突風が吹く可能性がある場合、またはオーニングのそばを離れる場合は、必ずサポートポール、ガイロープ、ペグをご使用ください。本製品は、通常の条件下での一般的な使用を想定して設計されています。
- ご自身の身長とポールの高さに注意し、頭をぶつけないようにしてください。
- 取り付け金具は、時間の経過と共に緩むことがあります。ご使用のたびに確認し、必要に応じて締め直してください。
- 全ての取り付け金具が、取付説明書に従って確実に固定されているかを確認してください。出発前に安全確認を行わない場合、重大な事故につながる恐れがあります。
- 自動洗濯機を使用する場合は、車両からキャリアを取り外してください。
- オーニングの下で、ろうそく、ガスランタン、灯油ランプ、ストーブ、調理器具、暖房器具などの、燃料を燃焼させる機器や酸素を消費する機器を使用しないでください。
- キャンプファイヤーやそのほかの火源の近くでオーニングを展開しないでください。

### キャリアの取り付け

キャリアおよびオーニングの取り付けが不適切な場合、走行中に緩んで重大な事故を引き起こす恐れがあります。取り付け、取り扱い、および使用は、製品およびキャリアの取扱説明書に従って行ってください。

### 取り付け金具と積載物を定期的に確認し、すべてがしっかりと固定されていることを確認してください。

- テントの設置後、少し走行してから
- 長距離の旅行中は定期的に
- 悪路では2時間ごとに

### 車両の運転および規制

- 走行速度は、積載物および道路の速度制限に適合したものでなければなりません。
- 積載物を運搬する際は、道路の状態、路面状況、交通状況、風など、あらゆる条件を考慮して速度を調整してください。ルーフトップにキャリアや荷物を載せると、車両の操縦性、コーナリング、制動性能、横風に対する反応などが変化します。

## オーニングのお手入れとメンテナンス

- ご使用のたびに、オーニングの取り付け金具を点検してください。必要に応じて、中性洗剤と水を混ぜた溶液で洗浄してください。性能を維持するために、定期的に、軽めの合成自転車用潤滑油で金具のねじ山に注油してください。
- オーニングを収納する前に、十分に乾かしてください。閉じる前に十分に乾かすことができない場合は、完全に閉じずに保管し、次の機会に風通しの良い場所で自然乾燥させてください。オーニングを十分に乾燥させないと、カビが発生する原因となり、オーニングの素材が劣化させ、変色や悪臭を引き起こす可能性があります。カビの発生は、オーニングの保証対象外となります。
- 使用しないときもオーニングを適切に保管することで、長くご利用いただけます。保管前にオーニングが完全に乾いていることを確認し、直射日光の当たらない、涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ファスナーは、均一な力で優しく引いてください。ファスナーを無理に開けたり閉じたりすると、破損する恐れがあります。ファスナーにほこりや汚れが付着しないようにし、定期的に無香料の蜜蝋をファスナーの歯に塗布することで、ファスナーの故障を防ぐことができます。
- オーニングを収納する前に、ポールの汚れやほこりを拭き取ってください。定期的にシリコンスプレーと布を使用し、ポールの清掃を行ってください。
- オーニングを洗浄する際は、中性洗剤とぬるま湯に浸したスポンジで優しく塗布してください。きれいな濡れたスポンジですすぎ、十分に乾燥させてください。
- オーニングにカビが生えた場合は、Lysol™とレモンジュースを使用したお手入れ方法をお勧めします。まず、1ガロンの熱湯に1カップのLysol™を混ぜた溶液をスポンジで塗布し、乾燥させます。次に、熱湯1ガロンにレモンジュース濃縮液1カップと塩1カップを混ぜた溶液をスポンジで直接塗り込み、Lysol™溶液を洗い流してください。その後、完全に自然乾燥させてください。これらの手順を行うことで、カビの繁殖を防ぎ、臭いを除去することができますが、汚れが完全に落ちない場合もあります。
- オーニング生地への傷めないために、過度に日光へ曝さないでください。長期間にわたり紫外線に曝されると、オーニング生地や防水コーティングが劣化してしまう可能性があります。オーニングの生地が日光や使用によって劣化し始めた場合は、中性洗剤と水で生地を洗浄した後、撥水剤を塗布することをお勧めします。その他のテント生地用ケア製品については、お近くのアウトドア専門店にご相談の上説明に従ってご使用ください。

## 注意事項

### 取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のような時に確認してください。

- ・ 出かける前
- ・ ラックまたは積載物を載せた後
- ・ 短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・ 長時間の移動では定期的に
- ・ 悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・ 車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

### ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。  
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

### 走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。  
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

### メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)  
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモonium添加剤が入っている液体は使用しないでください。  
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。  
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。  
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

# YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>  
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

## AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：[info@auto-proz.com](mailto:info@auto-proz.com)

HP：<https://www.auto-proz.com/>